

センター講演会のお知らせ

(創薬人育成のための創薬実践道場教育構築事業)
(多機能性人工エキソソーム(iTEX)医薬品化実践を通じた操薬人育成事業)

疎水性相互作用を活用する創薬化学研究

講 師 : 周東 智 先生
北海道大学大学院薬学研究院・教授

日 時 : 平成27年10月29日(木)
16:00~17:30

場 所 : 薬学部2階 第1講義室

薬が効果的に治療効果を発現するためには、標的分子との強力かつ高選択的に結合することが必須である。極性相互作用は官能基間相補性が高く分子識別に優れるので選択性に寄与するものの、結合親和性向上に必ずしも効果的に作用するとは限らない。一方、疎水性相互作用はその官能基相補性は高くはないものの、結合親和性を強めるために極めて有効である。従って、薬と標的分子との結合においては、水素結合等の極性相互作用と疎水性相互作用(非極性相互作用)の双方が協働的な役割を担うことが必須である。本講演では、疎水性相互作用を分子設計に積極的に活用にするリガンド分子設計とその生物活性を概説して頂く。

- ※ 教官、大学院生・学部生の多数のご来聴を歓迎します。
- ※ 兼：創薬研究実践特論(博士後期課程、南川担当分)
- ※ 兼：医薬品創製資源学特論(博士前期課程、南川担当分)
- ※ 兼：創製薬学2(3年生)

【連絡先・問い合わせ】生物有機化学分野 南川典昭

TEL&FAX : 088-633-7288 (内線 6320)